

広報あくね

2025年8月号(8月14日発行) / 通巻第943号

阿久根

帰ってきたくなる 行ってみたくなる
東シナ海の宝のまち



戦後80年 — あの日を忘れないために

8

主な記事

- (特集) 戦後80年 あの日を語り、平和をつなぐ・・・・・・・・・・ 2
- 阿久根みどこい夏まつり開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- 阿久根うみまち芸術祭・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- 令和7年国勢調査を実施します・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

2025 No.943

Photo

戦争体験者
井上悦子さん

戦後80年

あの日を語り、平和をつなぐ

1945（昭和20）年、太平洋戦争が終結してから、今年で80年を迎えます。

あの戦争を体験として知る人は少なくなり、私たちの日常には、当時の記憶が少しずつ遠のきつつあります。

しかし、戦争は決して過去の「物語」ではなく、かつてこの阿久根でも実際に起きていた「現実」です。

空襲で焦土と化した町、家族を失った悲しみ、教育や暮らしの中に深く入り込んでいた戦争の影――。

戦後80年という節目に、戦火に見舞われた阿久根の風景やあの時代を生きた方々の声を通して、過去を見つめ直し、平和の尊さを心に刻みましょう。

▼ 1945年8月12日、阿久根市街地が空襲に遭い、家屋が炎上している様子



空襲と阿久根 — 終戦直前の惨禍 —

1942年4月、米軍の爆撃機が空母から発進し、東京や名古屋などを初めて空襲しました。1944年11月にはマリアナ諸島が米軍に占領され、長距離爆撃機による空襲が本格化。1945年3月10日には、東京大空襲で一夜にしておよそ10万人が犠牲となり、主要都市への爆撃が続きました。

6月には沖縄が占領され、米軍の拠点が日本本土に近づいたことで、空襲の勢いはさらに強まります。

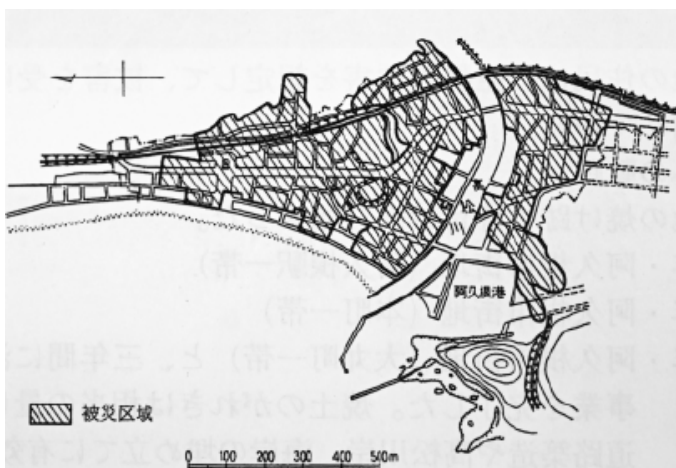
やがて標的は地方都市にも拡大し、鹿児島大空襲では、大規模な爆撃で死者3千人以上、市街地の約93パーセントが焼失。そして8月6日に広島、9日には長崎に原子爆弾が投下され、壊滅的な被害をもたらしました。

それでも空襲は終わらず、日本がポツダム宣言の受諾を発表した8月15日未明に至るまで、断続的に続きました。



▲ ダグラスA-20

双発（エンジンが2つ）の攻撃機で、爆弾の投下や機銃掃射を行うために使われました。太平洋戦争の後半には日本本土への空襲にも使用され、阿久根の空襲にもこの機体が使われたとされています。



▲ 市街地の被災状況

死者14人、850戸の家屋が破壊され、4,670人（当時の阿久根町の約16%にあたる戸数）が家を失い、食べる物もない生活に陥った。112,000㎡が焼失し、見渡す限りの焦土とがれきの山となった。終戦後、直ちに町の復興が図られたが、数地区では、がれきの処理が完了するまで3年を要した。

当時の阿久根でも終戦のわずか3日前、8月12日15時ごろ、ダグラスA-20攻撃機27機の襲来を受け、市街地は激しい空襲に見舞われました。

この空襲前の3月ごろからは、阿久根上空には毎日のように攻撃機が飛来し、折多小学校は全焼、大川駅付近では列車への機銃掃射（地上に向けて機関銃で撃つ攻撃）を受けるなど、市内各地で被害が相次ぎ、死者も出ました。

出典 阿久根の空襲（平成14年3月阿久根市発行）

▼ 海側から阿久根市街地を撮影した様子



今さら語っても空しい。

でも語り継がなければ。

1945年8月12日、私は阿久根高等女学校（旧阿久根高校）の卒業生で、養成科に入って教師になるための勉強をしていました。戦争がひどくなるにつれて、食べ物がどんどんなくなり、学校の運動場やお寺、広い空き地は全部畑になりました。畑にはカライモとカボチャを植えていましたが、除草剤なんてないですから、夏休みはみんな交代で草取りに行くの。その日はちょうど私が当番でね、学校に行ってたんですよ。

午後の作業に入りましょうかって言って、5、6人畑に広がっていたら、警戒警報が鳴って、ふと空を見上げると、目の前にネズミ色の大きな翼がウワーツと上がってきて、急いで校舎に走って逃げたの。機銃掃射があつて、バタバタバタバーツと轟音が響いて。もう私を目掛けて撃つような気がするんですよ。うつ伏せながらもね、足やお尻から肉がピリッピリッと飛び出すような怖さでしたよ。

方向転換して、またバタバタバタバーツって、「やられた、もうやられた」って思いました。そしたら下級生がもうウワーツ泣き出してね。「南無阿弥陀仏、南無阿弥陀仏、本当に南無阿弥陀仏、お父さんお母さん」って

泣くんですよ。一体どんなふうにして、撃つてくるんだろうかと思ひ、ちょっと顔を上げて見てみたんです。そしたら2人乗っていて、はっきり顔が見えるんですよ。それくらい、本当に屋根すれすれの低空飛行だったんです。アメリカ軍には「できるだけ低空で攻撃せよ」という命令があつたそうです。この話をすると、「おいも見た」「私も見た」って、みんな言うんですよ。

今でもね、私はあの飛行機の色が好きじゃないの。その色を見ると、ぞっと思ひ出すんですよ。この経験だけは、一生忘れないですね。あの怖さは。

どんなことがあつても、こんな愚かな戦争は、絶対にしてはいけないと思うんですよ。戦争というのは、何百年、何千年とかけて築いてきた文化や人の暮らしを、一瞬で壊してしまうもの。こんなこと、今さら語っても空しいなあと思うことがあります。でもやっぱり、あの時代を知っている私たちが、少しでも語り継がなければ、忘れられてまた同じことが繰り返されてしまう。だから、あのときのことをこうして誰かに伝えることが私のできることだと思っています。



梶之浦東区

井上 悦子^{えつこ}さん（96歳）

波留出身。戦時中は女学校在学中に空襲を経験し、戦後は教員として地域の子どもの教育に尽力。長年にわたり読み聞かせや紙芝居活動などにも関わり、平和の尊さを語り継ぐ存在として、多くの人に影響を与えている。



帰る家があっても

すぐには帰らなかった。

1944年、私が14歳のとき、大分にある旧陸軍の少年飛行学校に入校し、私は通信無線係でした。戦局が厳しくなり、飛行兵不足でたくさん養成せられないかということで全国に養成所がつくられました。無線は敵から傍受されないようにア、イ、ウなどの一文字を数字4桁で一組の暗号にして送信・受信する、その訓練でした。これを1分間に60文字くらい受信せいかんわけよ。1分間で60文字だったら数字で240。トン、ツー、トトトト：それを毎日送信・受信。気を抜けば意味が通じませんから、その訓練がやっぱりずいぶん厳しかったですね。

そこを1年で卒業して、1945年の4月から8月いっぱいまで兵庫県加古川の無線学校におりました。ここで空襲を受けました。機銃掃射を避けるための「タコツボ」という壕に身をひそめて、目の前をパッパッパッパッパッと機銃が走っていった。弾が当たって血だらけになった人もいた。でも怖いと感じたことはなかった。全くなかった。なぜかな、精神教育の賜物でしょう。怖いという感覚を覚えたことなかったですね。部隊が寝てから不寝番ふしんぱんというのがあって、交代で兵舎を見回りするんです。そのときに、

今の明石と神戸が一晩中燃えているのを眺めていたことがあった。その燃え方がすごかったんですよね。夜空が真っ赤に燃えてた。

精神教育も徹底していました。

朝起きたら、雪が降っていても上半身裸で乾布摩擦だ。たわしで体をこすって鍛える。服といったら、シャツ1枚に上着が1枚だけ。これは真冬の寒いときも絶対それだけ。訓練を厳しくしてそれに堪えていくっていうのは精神力と、全ての基礎、上官の命令は絶対服従というのが条件でしたから、それに不服を言う人はいなかったですね。

終戦が近づくと、兵舎を自分たちの手で解体して疎開しました。そして終戦。軍の解散命令が出て、歩いて壊れた鉄橋を渡って汽車に乗って、食べ物がなく現地の人に助けられたりして、4、5日かけてやっと阿久根に戻りました。家に帰る喜びは全くなかったですね。負けて帰ってきたから。なによりも、仲間と別れる寂しさ、戦友の絆っていうのは非常にこびりついてね。出水に着いたときは、家がすぐそこなのに帰らず、戦友ともう一晩一緒に泊まりました。言葉にはならない思いが今も心に残っています。当たり前の毎日が、どれほど貴重なものか。平和は、誰かが願い続け、守り続けてきた結果だということを。



桐野下区

大野 きよみ 清美 さん (95 歳)

桐野下出身。14歳で少年飛行学校に入り、通信兵に。戦時下で共に過ごした戦友との絆は深く、77歳まで毎年九州各地で再会を重ねた。子や孫にも恵まれ、「誰よりも幸せな人生だった」と穏やかに振り返る。



みどこい つり





阿久根夏まつり



10.11土 → 11.3月・祝

阿久根うみまち芸術祭実行委員会（事務局：阿久根市役所・商工観光課内）は、この秋、阿久根で初めてのアートフェスティバル「阿久根うみまち芸術祭 2025」を開催いたします。さまざまな海の景色を楽しめる阿久根を舞台に、アートを通して、人々の心がつながりあう——。すてきな芸術祭のはじまりです。

阿久根うみまち芸術祭 2025

会期： 2025年10月11日(土)～11月3日(月・祝)

会場： 阿久根市内の各会場 ※詳細は8月下旬に公表予定

内容： アート展示

ライブパフォーマンス

ワークショップ

マーケット

飲食など

チケット発売： 8月下旬予定

主催： 阿久根うみまち芸術祭実行委員会

(阿久根市役所・商工観光課内 TEL.0996-73-1114)

【阿久根うみまち芸術祭実行委員会】

- ・阿久根市（商工観光課）
- ・株式会社まちの灯台阿久根
- ・合同会社とおまわり
- ・株式会社日本水泳振興会
- ・株式会社あくねや
- ・学校法人めぐみ学園
- ・肥薩おれんじ鉄道株式会社

実行委員長

キュレーター



阿久根市
副市長

上野 淳



文筆家
映像作家
俳優

小川 紗良



まちの灯台
阿久根
代表

石川 秀和

\\ 公式サイトで情報発信しています //

阿久根うみまち芸術祭

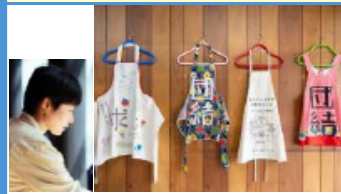
公式ホームページ <https://akune-artfest.jp>

公式Instagram @akune_umimachi_af

フォローお願いします♪



【招聘アーティスト】 多彩なアーティストによる作品を市内各地で展示！



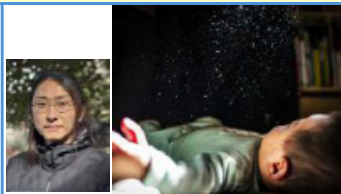
碓井ゆい
美術作家



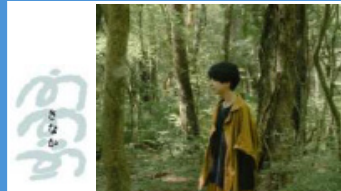
ウラベメグミ (Utte)
アーティスト・生地職人



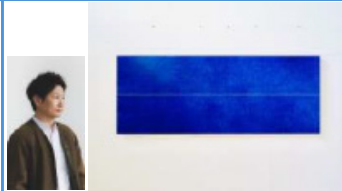
塩谷歩波
画家



齋藤陽道
写真家・文筆家



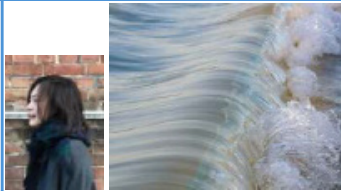
sanaka
クリエイティブユニット



田中重人
美術家・詩人



富松篤
彫刻家



細原裕香
デザイナー・写真家

【九州若手枠】 九州出身あるいは九州在住の、35歳以下のアーティストをフィーチャー！



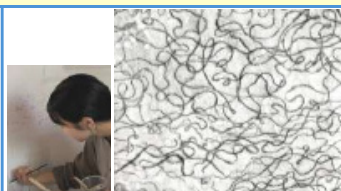
いい日
造形作家



iii architects
建築家



小島遊ミズキ
漫画家



nonoha
美術作家

会期中に市内で開催されるイベント

10/11
土

阿久根みどこい秋まつり 会場：阿久根新港 主催：阿久根みどこい祭り実行委員会
阿久根の港に人々が集い、1万発もの花火が打ち上がる。

10/12
日

ともまち GOAND SUP マルシェ
会場：脇本湾 主催：ともまち GOAND SUP マルシェ実行委員会
脇本地区で楽しめる、アクティビティとマルシェのイベント。

11/2
日

おはよう市 会場：北さつま漁港 主催：阿久根市地域おこし協力隊
市内の飲食店が漁港に集合！ 港で食べる朝ごはん祭り。

焚き火料理と音楽のうたげ 会場：阿久根大島 主催：阿久根うみまち芸術祭実行委員会
地産地消の焚き火料理を、九州のアーティストによる音楽とともに。

11/3
月・祝

クロージング上映 会場：風テラスあくね 主催：阿久根うみまち芸術祭実行委員会
市内で撮影された映画『海辺の金魚』を上映後、舞台挨拶を開催。

その他、阿久根万博と連携して、各地でワークショップを開催！



【阿久根万博】

AKUNEEXPO2025
阿久根のまちをキャンパスに、見る・聞く・触れる・遊ぶ・巡るを目的とした、体験の博覧会。

いっしょに盛り上げてくれる方、大募集！ //

ボランティアサポーター「きびなごさん」募集



一緒に芸術祭をつくってみませんか？

参加は1日からOKです。
お気軽にご登録ください。



>> 公式サイト【応援する】
<https://akune-artfest.jp/2025/support>

「寄付・協賛」のお願い

阿久根うみまち芸術祭は、寄付・協賛を募集しています。
あたたかいご支援をお願いいたします。※申込+振込

- ◆【個人】の方のご寄付（1口1万円～）
- ◆【企業・団体】様のご協賛（1万・3万・5万・10万円）

振込先

鹿児島いずみ農業協同組合
阿久根支所 普通 0102978
阿久根うみまち芸術祭実行委員会 会長 上野 淳

寄付・協賛には申込が必要になります。詳細は公式サイト(上記 QR コード)または阿久根市役所・商工観光課まで。



阿久根うみまち芸術祭実行委員会 （阿久根市役所・商工観光課内 TEL.0996-73-1114）



長年にわたり公正な選挙執行に尽力

全国市区選挙管理委員会連合会から表彰

7月3日、阿久根市選挙管理委員会委員を任期満了により退任された大瀧克義^{かつよし}さんが、全国市区選挙管理委員会連合会から表彰されました。

大瀧さんは、7年6か月にわたり、市選挙管理委員を務め、公正な選挙の執行に尽力されてきました。選挙管理の重責を誠実に果たし、連合会の発展にも寄与された功績が顕著であるとして、今回の受賞となりました。長年にわたるご功績に、敬意と感謝の意を表します。



8名の新規就農者を迎えて開催 新規就農者を地域全体で応援

7月9日、ABCパレスにおいて、北薩地域振興局、出水・阿久根地区指導農業士会、阿久根市、出水市、長島町の主催による「新規就農者励まし」の会が開催され、関係者約50名が参加しました。会には、今年6月までに新たに就農した8人が招かれ、各種支援制度や指導農業士の活動内容、農業青年クラブなどについて紹介が行われました。

北薩地域振興局 吉元農林水産部長からは「高い志とチャレンジ精神を持ち、地域の担い手として成長されることを期待しています」と新規就農者にエールが送られました。



稚魚に願いを込めて放流 豊かな海づくり放流祭を開催

7月10日、阿久根漁港で「第37回豊かな海づくり放流祭」を開催しました。

この放流祭は、北薩地区水産改良普及推進協議会の主催によるもので、水産資源の保護と環境保全の意識を高めることを目的に毎年、県内各地で行われています。今回は、蓮華保育園の園児23人も参加し、元気いっぱい「おおきなあれ」のかけ声とともに、カサゴとマダイの稚魚をそれぞれ千匹ずつ海へ放流しました。

放たれた稚魚が青い海へと元気に泳ぎ出し、未来の海づくりにつながる行事となりました。



脇本海岸から阿久根の魅力を発信！ 「シーサイドステーションin阿久根」公開生放送を実施

7月21日、脇本海水浴場において、9回目となるエフエム鹿児島「シーサイドステーションin阿久根」の公開生放送を行い、阿久根の今を多くのリスナーに届けました。

会場では、ホンダカースさつま主催の「μFMビーチバレーボール大会」も同時開催され、会場を大いに盛り上げました。

生放送には西平市長をはじめ、海の家サンフラワー、三笠中学校3年生、脇本海岸ウミガメ・シロチドリ会、鶴翔高校放送部、地域おこし協力隊が出演。そのほかヴィラ・ヒカルゼや、ともまち珈琲から中継を行うなど多彩な出演者が登場し、阿久根の魅力を発信しました。



中継送水や操作確認で連携強化を図る 林野火災を想定し消防団が訓練実施

7月13日、総合運動公園で火災想定訓練を実施し、阿久根市消防団8分団160人が参加しました。今回はじめて消防操法大会の代替訓練として開催し、団員のポンプ操作の習熟や分団・班の連携強化を目的に、林野火災を想定した長距離（中継）送水訓練を行いました。

訓練前には消防職員による講習会が開かれ、ポンプ車や小型ポンプの中継時、ホースの展張・延長時、トランシーバーによる交信時の注意点などが確認されました。

水槽から取水し、小型ポンプとポンプ車をホースで接続して中継し、約1キロメートルの距離を延長しながら送水する訓練に加え、複数の水槽間で補水を行う訓練もあわせて実施しました。

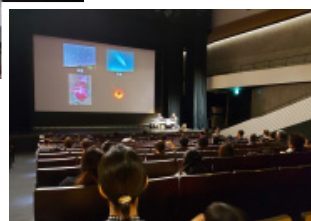
実践的な訓練を通して、今後の火災発生時に迅速かつ的確な対応ができるよう、団員それぞれが真剣に取り組みました。



宇宙と天文の不思議にせまる夜 あくね星空観望会で夏の夜空を観察

8月2日、あくね星空観望会を開催し、市内外から家族連れ約70人が参加しました。

はじめに、風テラスあくねで、県立博物館の片野田裕亮学芸主事と元脇本小学校長の宮下正信さんによる講話が行われ、夏の星座の見方やペルセウス座流星群などについて分かりやすく解説されました。その後、参加者は番所丘公園へ移動し、天体望遠鏡を使って夏の太三角やさそり座などの星座を観察しました。参加した折多小学校4年淵脇奈奈さんは、「説明がわかりやすく楽しかったです。星のことをもっと知ることができてうれしかったです」と話しました。



「子どもたちにライフジャケットを！」 森重裕二さんから15着の寄付

「子どもたちにライフジャケットを！」代表の森重裕二さんから、水難事故防止対策として、子ども用ライフジャケット15着の寄付がありました。

森重さんは、水辺で小学生が命を落とす水難事故をきっかけに、ライフジャケットの大切さを伝える活動を始め、「ライフジャケットサンタ」として全国各地に寄付や啓発を行っており、命を守るためにできることを、少しでも多くの人に知ってほしいという思いで、精力的に活動を続けられています。

寄付いただいたライフジャケットは、スポーツ推進課で貸し出しを行っています。





「to the Next」～次に向かって～
「for the Next」～次のために～

西平良将市長の主な活動

市ホームページをご覧ください。

阿久根市 市長の活動報告

検索

7月



7月	活動内容
1日	令和7年度第75回社会を明るくする運動メッセージ伝達式
2日	第2回市議会定例会本会議
3日	全国市区選挙管理委員会連合会表彰伝達式
4日	第36回鹿児島県都市計画審議会常務委員会（鹿児島市）
6日	第73回三地区親善スポーツ大会（長島町）
8日	令和7年度全国青年市長会北海道・東北ブロック会議（北海道室蘭市）
9日	令和7年度全国青年市長会北海道・東北ブロック会議（北海道室蘭市） 第2回消防議会臨時会
10日	第37回豊かな海づくり放流祭 令和7年度阿久根市男女共同参画審議会
11日	令和7年度阿久根市健康づくり推進協議会 令和7年度鹿児島県消防協会出水支部第1回役員会
13日	令和7年度阿久根市消防団火災想定訓練
15日	令和7年度過疎関係都市連絡協議会総会（東京都千代田区）
18日	令和7年度第1回地域経済委員会（鹿児島市）

19日	中村主税氏令和7年春の叙勲における瑞宝双光章受章記念祝賀会 第9回μ FM ビーチバレーボール大会 in 阿久根
21日	Sea Side Station in 阿久根 七夕こども祭り・焼酎ガーデン楽しみ Night 阿久根警察署管内沿岸防犯連絡協議会令和7年度総会
24日	総合教育会議
25日	令和7年度全国青年市長会九州・沖縄ブロック別会議（WEB会議）
26日	八坂神社例大祭 阿久根みどころ夏まつり
28日	土地開発公社理事会
29日	南九州西回り自動車道建設促進期成会および南九州西回り自動車道建設促進協議会中央要望活動（東京都千代田区）
30日	全国青年市長会 こども家庭庁との意見交換（東京都千代田区）

こども家庭庁と全国青年市長会の意見交換会

7月30日、こども家庭庁において友納理緒内閣府大臣政務官と「こども・子育て支援策に関する取組と未来に向けての課題」と題し意見交換を行いました。



各市長から現場の取り組みを紹介し、西平市長からは各施策の無償化について実情に即した給付の必要性を提起しました。



熱中症対策のポイント

- 気温が高くなると脱水状態となりやすいので意識してこまめに水分をとる。
- 汗をかきやすい状況では、水分だけでなく塩分も補給する。
- ネッククーラーやうちわなど、冷却グッズを利用し体温を調節する。
- 帽子や通気性のいい長袖の衣服などを使って日差しや暑さから体を守る。
- 今いる場所の温度と湿度を常に確認しておく。
- 体調管理は家族や周囲の人とお互いに声を掛け合うことが大切
- 日頃から運動や入浴などで適度に汗をかき、体が暑さに慣れた状態（暑熱順化）にしておく。

防災 豆知識

このコーナーでは日頃から備えなければならない防災に関する豆知識などをご紹介します。

問 総務課 危機管理係 73-1210

災害に備えて

「災害時の熱中症対策」

災害時、停電や断水などが発生すると、気温・湿度の管理やこまめな水分補給が難しくなるだけでなく、慣れない環境でストレスによる体調変化、睡眠不足や生活のリズムの乱れなど、熱中症を引き起こす要因となる「環境・からだ・行動」のすべての面で熱中症の危険性が高くなります。

災害時の熱中症対策について理解を深め、いざというときに備えましょう。



令和7年国勢調査を実施します

問 企画推進課 統計調査係 ☎ 73-1214

国勢調査は、日本に住む全ての人を対象とする、国の最も重要な統計調査で、人口や世帯の実態を明らかにするため、5年に1度行われます。

令和7年国勢調査は、人口減少、少子高齢化の最新の状況を明らかにするなど、日本の未来を描く上で欠くことのできないデータを得るためのものです。調査結果は、さまざまな法令に利用されるほか、社会福祉、雇用政策、生活環境の整備、防災対策など、私たちの暮らしのために役立てられます。

調査対象

令和7年10月1日(水)午前0時現在で、国内に常住する全ての方（外国人の方を含む）

個人情報厳守されます



調査員および調査関係者には守秘義務があり、調査内容の秘密は厳重に保護されます。安心して調査にご協力ください。

可能な限り、インターネットでの回答をお願いします

国勢調査2025 調査の流れ

1 調査書類の配布

9月20日(土)～9月30日(火)



調査員が訪問し、回答のための書類をお配りします。

どちらかで回答

2

インターネット回答受け付け

9月20日(土)～10月8日(水)



インターネットでの回答を受け付けます。インターネットで回答された方には調査票の訪問回収は行いません。

2

調査票（回答用紙）の回収

10月1日(水)～10月8日(水)



調査員が訪問し、調査票（回答用紙）を回収します。この期間に、郵送での提出も可能です。



指定管理者を募集します

問 環境水産課 生活環境係 ☎ 73-1219

「阿久根市葬斎場 佛石の里^{ほとけいし}」を管理運営する指定管理者を募集します。

応募資格や業務内容など詳しくは、環境水産課までお問い合わせください。

募集団体 1団体

応募資格 次の団体であること

- ・法人その他の団体（法人格の有無は問いません。）
- ・阿久根市内に事務所または事業所を有する団体

指定期間 令和8年4月1日から5年間

募集期間 8月21日(木)～9月30日(火)

受付時間 8:30～17:15（土日祝を除く）

募集要項の配布場所・申請場所

環境水産課 生活環境係 ☎ 73-1219

▼ 阿久根市葬斎場 佛石の里



9月10日～16日は「自殺予防週間」です

問 こども保健課 保健予防係 ☎ 73-1228

阿久根市では、令和元年から令和5年までの5年間に18人が自死され、年代別にみると、80歳以上、60歳代、70歳代、30歳代、50歳代の順に多く、男性は女性の約2倍となっています。

原因は、「健康問題」が最も多く、「家庭問題」「経済・生活問題」「勤務問題」などさまざまな悩みを抱えて「心理的に追い込まれた末の死」である場合がほとんどです。自殺は個人の問題ではなく、“身近な社会問題”です。この機会に、私たち一人一人にできることを考えることが大切です。

相談してみた。
少しほっとした。

人に話すことで、心が軽くなるかもしれません。
匿名でも大丈夫です。
電話でも、SNSでも相談できます。



悩みがある方・困っている方へ

もしあなたが悩みや不安を抱えて困っているときには、気軽に相談できる場所があります。

相談方法もいろいろなものがありますので、ご希望の窓口を選んで話してみませんか？



県内・市内の
相談窓口は
こちら

周囲の支えや見守りが悩んでいる人の助けになります

悩みを抱え「こころの不調」から判断力や生きる意欲を無くしている人、自殺を考えている人などは、気分の落ち込み、表情が暗い、眠れない、食欲不振などを伴い、何らかの心のサインを発していることが多いといわれています。

「いつもと違うな」と、周りの身近な人の心のサインに気づいたら、「どうしたの？」と声をかけ、話に耳を傾けてください。また、必要に応じて専門の相談機関を利用してください。

在宅医療・介護についての出前講座

問・申 阿久根市地域包括支援センター ☎ 73-1272
I N Aサポートセンター ☎ 73-2375

もしもの時に備え、希望する医療や介護、生き方について考えてみませんか。

市では、在宅医療・介護について、出水郡医師会在宅医療介護支援センター（I N Aサポートセンター）と協働し、公民館などで出前講座を行っています。

出前講座のご相談やお申し込みは、地域包括支援センター（☎ 73-1272）へお問い合わせください。

所要時間 1時間程度

料 金 無料



がん患者アピアランスケア支援事業

問・申 こども保健課 保健予防係 ☎ 73-1228

がん治療の影響で医療用ウィッグまたは乳房（胸部）補整具が必要な方に購入費用の助成を行うことにより、精神的・経済的負担を軽減し、治療と就労との両立を支援します。

対象者 がんの治療により補整具を必要とする方で、過去や他自治体で本事業と同様の事業による購入費用の助成等を受けていない方

対象経費・補助金額

- ・医療用全頭用ウィッグ（上限2万円）
- ・乳房（胸部）補整具（上限1万円）

その他 必要書類や申請方法など詳しい内容は、市ホームページまたはこども保健課 保健予防係（☎ 73-1228）へお問い合わせください。



9月21日～27日は「認知症を理解し一緒に歩む県民週間」です

認知症の高齢者は、2040年に584万2,000人（高齢者の約15%）にのぼると推計されています。認知症は誰もがなり得るものであり、年齢が上がるほど有病率は高くなります。認知症について正しく理解し、偏見や差別のない、暮らしやすい社会にしていきたいと思います。

9月には認知症に関するさまざまな取り組みを行いますので、ぜひご覧ください。

問・申 阿久根市 地域包括支援センター ☎ 73-1272



認知症にやさしい本棚

場所 阿久根市立図書館

期日 9月中



認知症事業パネル展示①

場所 広域医療センター
(1階外来待合)

期日 9月 8日(月)～
9月 26日(金)



認知症事業パネル展示②

場所 阿久根市役所

期日 9月 1日(月)～
9月 30日(火)



認知症サポーター養成講座

場所 風テラスあくね

日時 9月 20日(土)
13:30～15:00

申込方法 電話による申込

申込期限 9月 12日(金)



就学時健康診断を実施します

問 学校教育課 指導係 ☎ 73-1258

令和8年4月に小学校へ入学予定のお子さまを対象に就学時健康診断を実施します。小学校に入学するための大切な健康診断であるため、必ず受診ください。

当日は、保護者または代理の方の付き添いをお願いします。対象者には、9月初旬に「就学時健康診断通知書」を交付し、日時の詳細をお知らせします。

対象者 平成31年4月2日～令和2年4月1日
生まれの方

診断日・対象地区

10月1日(水) 市街地 湯、大丸、倉津、遠見ヶ岡、波留、
高松、上野、浜、町、新町
赤瀬川地区

10月2日(木) 大川地区、西目地区、山下地区、
鶴川内地区、折多地区、脇本地区

場所 風テラスあくね

受付時間 13:10～13:30(健康診断16:00終了予定)



いつまでも元気で過ごすために 「たけのこ教室」を開催しています

問・申 阿久根市 地域包括支援センター ☎ 73-1272

市では、年齢を重ねても、いつまでも元気で過ごしていただけるよう「たけのこ教室」を開催しています。足腰の筋力を高めるための運動を中心に、口腔機能の向上や栄養改善にも取り組み、生活の質の向上を目指します。



対象者 ・市内在住の65歳以上の方

- ・転ぶことへの不安が大きい、筋力が落ちてきた、お茶などでむせることがある、しっかり食べているのに痩せてきたなど、気になることがある方
- ・介護保険サービス未申請～要支援2の方で、通所サービスや訪問リハビリを利用していない方（訪問介護や福祉用具貸与のみ利用の場合は参加可能）

曜日・回数 毎週木曜日 全16回

時間 13:30～15:30

会場 農村環境改善センター

参加費 無料

申込先 阿久根市地域包括支援センター

その他 ご自身で会場に来ることができない場合には、送迎します。



市が行う物品購入など 入札に参加する場合は申請が必要です

問・申 財政課 管財係 ☎ 73-1217

令和8年1月からの「物品購入等^{*}」の入札（見積り）に参加を希望される方を対象に、入札参加資格審査を行います。申請に必要な書類などの提出がない場合、市が発注する物品の購入などの入札（見積り）に参加できなくなりますので、受付期間内にご提出ください。

※ 市が発注する物品の購入、売却、修繕、賃借、委託業務のこと（建設工事に係る測量、設計などの委託業務を除く）

対象者 市が発注する物品購入などの取り扱いを希望される方

入札参加資格審査の実施 「物品購入等入札参加資格審査申請書」に必要な書類などを添えて提出してください。

受付期間 9月1日（月）～10月31日（金）

11月以降の提出も可能ですが、入札参加資格登録簿への登録日が遅れる場合があります。

入札参加資格の有効期間

令和8年1月1日（登録された日）～令和10年12月31日



危険な空き家をお持ちの方へ 解体撤去工事の補助金があります

問・申 都市建設課 住宅対策係 ☎ 73-1189

倒壊の危険や瓦・壁などが飛散するおそれのある空き家は、周囲にとって大きなリスクとなります。このような危険な空き家の解体撤去を行う方に対して、補助金を交付しています。

補助内容

対象経費 30万円以上の解体工事費用

補助率 対象経費の3分の2

補助限度額 60万円

注 意 点

- (1) 補助には要件がありますので、必ず事前にご相談ください。
- (2) 着工前に申請を行い、市の承認を受ける必要があります。



農業者年金に加入しませんか

問 農業委員会事務局 ☎ 73-1249

農業者年金は、厚生年金などに加入していない農業者のための国民年金（老齢基礎年金）に上乗せする積立方式の公的年金です。

- 加入要件**
- (1) 国民年金1号被保険者
 - (2) 年間60日以上農業に従事
 - (3) 20歳以上60歳未満

保 険 料 月額2万円～6万7千円

- 特 徴**
- ・終身年金で死亡一時金あり。
 - ・一定の要件で保険料の国庫補助あり。
 - ・運用益は非課税で、保険料は全額社会保険料控除の対象、受給時は公的年金等控除の対象となります。



第27回阿久根交通・地域安全 グラウンド・ゴルフ大会参加チーム募集

問・申 総務課 危機管理係 ☎ 73-1210

大会日時 9月17日（水） 受付 7:45～

※荒天の場合は中止

場 所 阿久根総合運動公園内 陸上競技場

参加資格 市内在住の方（年齢・性別不問）

最大40チームまで（超えた場合は抽選）

参 加 料 無料

申込期限 9月1日（月）まで

申込方法 総務課 危機管理係に電話または市役所1階市民相談窓口を設置の申込用紙に記入



8月・12月は 県下一斉国保税滞納整理強化月間です

問 税務課 滞納整理係 ☎ 73-1202

県では、8月と12月を「鹿児島県県下一斉国保税滞納整理強化月間」と定め、納税意識を高める取り組みや納税相談などを実施しています。

市では次の取り組みを強化します。

- ①滞納者に対する催告書の送付、電話催告、納税相談など
- ②滞納者の預貯金・給与・不動産などの財産調査
- ③滞納者の預貯金・給与などの差し押さえ、搜索などの滞納処分

納付が困難な場合はお早めにご相談ください

- ▶ 災害、失業、病気などのやむを得ない事情で国保税を納期限までに納めることができない場合は、お早めに税務課へご相談ください。
- ▶ 国保税は、国保制度を支える貴重な財源ですので、納期内納付へのご理解ご協力をお願いします。

特定計量器定期検査を実施します

問 商工観光課 商工観光係 ☎ 73-1278

事業で取り引きや証明上の計量に使用する特定計量器（はかり）は、計量法により、2年に1回、定期検査を受けることが義務付けられています。

定期検査対象地区の事業者と対象者には、計量器定期検査通知書を事前に郵送します。

また、取り引きや証明にはかりを使用している方で定期検査を受けていない方はご連絡ください。

対象 1トン未満の特定計量器

日時・場所

9月24日 水

- ▶ 10:30 ~ 12:00 大川地区公民館(旧大川中学校)
- ▶ 13:30 ~ 16:30 脇本地区公民館

9月25日 木

- ▶ 9:30 ~ 16:00 市役所公用車管理事務所

9月26日 金

- ▶ 9:30 ~ 14:00 市役所公用車管理事務所

必要な物 検査対象計量器、受検通知書、手数料(現金)

廃業や業務上ではかりを使わなくなった場合は、定期検査を受検する必要はありませんが、市で状況を把握するため、8月末までに必ずご連絡ください。

みそ作り体験会に参加しませんか

問・申 農政林務課 農政管理係 ☎ 73-1142

市内の農産物を活用した加工品の開発や販売に取り組む「阿久根市生活研究グループ」による、みそ作り体験会を開催します。

対象 ・市内在住で、生活研究グループが開催するみそ作り体験に参加したことがない方(年齢不問)
・2日間とも参加できる方

日時 **9月6日** 土 9:00 ~ 12:00

9月7日 日 9:00 ~ 15:00

※3日間ある工程のうちの2日間の体験。

場所 農村環境改善センター

料金 4,000円(一人約23kgのみそをお持ち帰り可)

定員 先着10人

申込方法 8月29日(金)までに農政林務課 農政管理係(☎ 73-1142)へ電話によりお申し込みください。

戦没者などのご遺族の皆さまへ 第十二回特別弔慰金のご案内

問・申 福祉課 福祉係 ☎ 73-1240

今日の平和と繁栄の礎となった戦没者などの尊い犠牲に改めて弔慰の意を表すため、国が戦没者などのご遺族の代表者お一人に、特別弔慰金(記名国債)を支給します。

支給対象となる方

戦没者などの死亡当時のご遺族で、令和7年4月1日(基準日)において、「恩給法による公的扶助」や「戦傷病者戦没者遺族等援護法による遺族年金」などを受ける方(戦傷病者の妻や父母)がいない場合に、次の順番で順位が先になる遺族お一人に、ご遺族の代表として支給されます。

- 1 令和7年4月1月までに戦傷病者戦没遺族等援護法による弔慰金の受給権を取得した方
- 2 戦没者などの子
- 3 戦没者などの①父母 ②孫 ③祖父母 ④兄弟姉妹^{※1}
- 4 上記1~3以外の戦没者等の三親等内の親族^{※2}(甥、姪など)

※1 戦没者等の死亡当時、生計関係を有しているなどの要件により、順番が入れ替わります。

※2 戦没者などの死亡時まで引き続き1年以上の生計関係を有していた方に限ります。

必要な物

①請求者の顔写真付き身分証^{※3}(運転免許証、マイナンバーカードなど)

②手数料(戸籍抄本などの提出が必要なため)

※3 代理人が手続きをする場合は、代理人の顔写真付き身分証と請求者の身分証(介護保険証などでも可)が必要です。

支給内容 額面27万5千円(5年償還の記名国債)

請求期間 令和10年3月31日まで

請求窓口 福祉課 福祉係(7番窓口)

注意事項 請求期間を過ぎると受け取れません。





補助金をご活用ください

連作障害対策土壌消毒・ジャンボタニシ駆除対策に取り組まれる方へ

問・申 農政林務課 農政管理係 ☎ 73-1142

農業者の皆さまの安定した農業経営を支えるため、「連作障害対策土壌消毒事業補助金」と「ジャンボタニシ駆除対策事業補助金」を交付しています。

それぞれの対象薬剤や補助内容は次のとおりです。

申請フローチャート

購入した場所や口座の有無で申請方法が異なります。

START

鹿児島いずみ農協で対象薬剤を購入し、
鹿児島いずみ農協の口座を開設している。

いいえ

農政林務課 農政管理係に
直接、申請してください。

はい

鹿児島いずみ農協を介して補助金が支払われます
口座情報（通帳の写しなど）を農政林務課に提出
する必要があります。昨年度申請された方で、口座
情報に変更がない方は提出不要です。

連作障害対策土壌消毒事業補助金

対象作物	実えんどう、そらまめ、キヌサヤ、インゲン、スナップエンドウ、葉たばこ、いちご、かんしょ
対象薬剤	クロルピクリン、ドクロロール、ガスタード、エコロジアル、バスアミド その他効果が認められる薬剤
補助率	薬剤購入費 4 分の 1 以内
対象期間	4 月から 11 月までに購入したもの

ジャンボタニシ駆除対策事業補助金

対象作物	水稻
対象薬剤	スクミノン
補助率	薬剤購入費の 2 分の 1 以内
対象期間	4 月から 8 月までに購入したもの



農薬（除草剤を含む）の使用時は、
次の点にご注意ください。

- 周辺住民や農作物に配慮して使用しましょう。
- 農薬の成分や使用方法などを確認のうえ、正しく使用しましょう。
- 河川への流出などによる環境汚染・健康被害などにつながらないよう気をつけましょう。



参加者募集中！

第 78 回阿久根市総合文化祭

問・申 生涯学習課 文化係 ☎ 72-1051

第 78 回阿久根市総合文化祭を開催し、「展示部門」「演芸部門」の 2 部門で参加の申し込みを受け付けます。日ごろの創作や練習の成果を発表する場として、ぜひご応募ください。

開催日時 11 月 1 日（土） 13:00 ～ 16:00

11 月 2 日（日） 9:00 ～ 16:00

会場 [展示部門] 風テラスあくね ロビー
[演芸部門] 風テラスあくね ホール

申込期限 9 月 5 日（金）



第 27 回あくね洋画展を開催します

問 生涯学習課 文化係 ☎ 72-1051

豊かな郷土の魅力の再発見や文化の薫るまちづくりのため、第 27 回あくね洋画展を開催します。

ご家族やご友人をお誘い合わせのうえ、風テラスあくねへお越しください。

日時 8 月 30 日（土） ～ 9 月 7 日（日）

場所 風テラスあくね ロビー・交流室

式典 8 月 30 日（土）

9:00 ～ オープニングセレモニー

9:30 ～ 表彰式

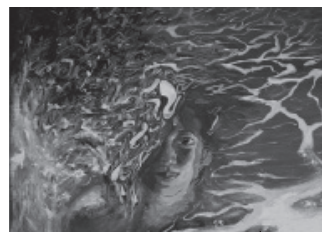
11:00 ～ ギャラリートーク

第 26 回あくね洋画大賞

『朝を生きる』

小林 暁香（出水市）

紙面の構成上、単色刷りとなっています





運動を始めた方 「健康運動教室」を開催します

問・申 スポーツ推進課 スポーツ係 ☎ 73-4649

健康運動実践指導者・ヨガインストラクターの西園敦子先生を講師に迎え、運動を始めた方や足腰の筋力アップをしたい方などを対象に、「健康運動教室」を開催します。

日時 10月 1日、8日、15日、22日、29日

11月 5日、12日、19日、26日

12月 3日 (全10日間、いずれも水曜日)

場所・時間 B&G 体育館 10:00～(1時間程度)

料金 1,260円(保険料320円を含みます)

対象 18歳以上の市内在住の方(医者に運動を止められている方はご遠慮ください。)

定員 先着20人

申込方法 9月24日(水)までに総合体育館事務所に
備え付けの申込書に記入いただくか、
二次元コードからお申し込みのうえ、
料金を事務所で支払ってください。



婚活イベントを開催します

問 企画推進課 地域振興係 ☎ 73-1215

秋の阿久根大島で、バーベキューやレクリエーションを通じて新たな出会いを見つけませんか?

詳しくは専用サイトをご覧ください。

日時 9月23日(火)

対象者 [男性] 北薩地域在住の25～45歳の独身の方
[女性] 25～45歳の独身の方

定員 30人(男女各15人)

参加費 2,000円



FAZIOLI ピアノ試弾会

問・申 生涯学習課 文化係 ☎ 72-1051

数多くの著名なピアニストから高い評価を得ている FAZIOLI ピアノの明るく、豊かな音色をぜひご体感ください。



日時 9月6日(土)・9月7日(日)

10:00～18:00

場所 風テラスあくね

料金 一人1,000円(演奏時間50分)

定員 先着16枠(枠が埋まり次第終了)

申込方法 8月18日(月)から9月5日(金)までの間に
生涯学習課 文化係(☎ 72-1051)へ電話により
お申し込みください。



県外協力店で自社商品の マーケティング調査をしませんか?

問・申 商工観光課 商工観光係 ☎ 73-1114

神奈川県鎌倉市の鮮魚店「サカナヤママルカマ」において、自社商品(食品に限る)に対するアンケート調査などを行うことができます。県外でのニーズや反応を確かめる場として、ぜひご活用ください。

実施内容

- (1) 商品のテスト販売
- (2) 来店者試食アンケート(サンプリング)調査
- (3) 同店従業員とアドバイザーの意見聴取

利用料 無料

応募方法 市ホームページをご覧ください。

応募期間

第1期募集 8月1日(金)～9月1日(月)

第2期募集 10月1日(水)～10月31日(金)*

第3期募集 12月10日(水)～1月15日(木)*

* 第2期・第3期の募集期間は予定です。



有料広告

**トラクター・重機
トラック・農機具**
見積り無料
どこでも
かけつけます!!

古くても、壊れてても、不動車でも
とと 高く買い取る ことを目指しています!!

広報紙を見て、ご連絡下さった方へ返品、
又は買取額10%UP致します。

TEL: 0986-77-9092

農機具高価買取専門店
アヴァンティ
〒985-1105 宮城県加賀市丸谷町
古物商許可 第951040015111号
携帯 080-3375-9750
FAX 0986-77-9092
https://kaitorimiyazaki.jimdo.com

お知らせ

LINE公式アカウント @akunecity

**友だち
募集中**

阿久根市

LINEの「友だち追加」から、
ID検索するかQRコードを
スキャンしてください



エコリア北薩「リユースの日」を開催

ごみを資源として循環させる取り組みとして、リユース品の無料回収を行います。回収したリユース品はリサイクル祭りでの還元や、業者により国内外で販売されます。

日時▶ 9月21日(日) 9:00～12:00

場所▶ リサイクルセンター エコリア北薩（出水市野田町上名6499-9）

料金▶ 無料

対象▶ 阿久根市、出水市、長島町に在住の方

持ち込めるもの▶

食器・家具・工具・家電・ゲーム・雑貨・自転車・着物・洋服（下着除く）・絵本などのリユース品で、「次の人がそのまま使えて、使うのに不自由しないもの」が対象。

持ち込めないもの▶

冷蔵庫・冷凍庫・洗濯機・エアコン・テレビ・パソコンなど

その他▶ 詳細については、北薩広域行政事務組合ホームページをご覧ください。

問 リサイクルセンターエコリア北薩
☎0996-84-4111



（公社）北薩法人会 地域社会貢献事業を開催

（公社）北薩法人会では地域社会貢献事業として、「鹿児島県警察音楽隊元気が出る！コンサート in 北薩」を開催します。

ゲスト団体として、出水中央高等学校吹奏楽部も参加します。

日時▶ 9月7日(日) 14:00～16:00

場所▶ マルマエホール出水
（出水市文化町23番地）

料金▶ 無料

定員▶ なし

その他▶ 事前の申し込み不要

問 （公社）北薩法人会事務局
☎0996-62-1338

全国一斉「こどもの人権相談」強化週間

全国の法務局・地方法務局では、学校における「いじめ」や家庭内における児童虐待等に悩むこどもたちの声を拾い上げるため、専用相談電話「こどもの人権110番」、「インターネット人権相談受付窓口（メール相談）」、小・中学生からの手紙による相談「こどもの人権 SOS ミニレター」の各種活動を行っています。

このうち、専用相談電話「こどもの人権110番」については、「全国一斉『こどもの人権相談』強化週間」を実施します。この週間中は、平日の電話受付終了時間（通常は17:15まで）を19:00まで延長し、土曜日・日曜日でも電話相談に応じます。

実施機関▶

- ・鹿児島地方法務局
- ・鹿児島県人権擁護委員連合会

実施日時など▶

期間 8月27日(水)～9月2日(火)

時間 平日 8:30～19:00

土日 10:00～17:00

電話番号▶子どもの人権110番

0120-007-110（全国共通・無料）
（一部のIP電話からは接続できません）

問 鹿児島地方法務局人権擁護課
☎099-219-2170

～預けて安心 自筆証書遺言書保管制度～

ご自身で書いた遺言書を法務局で保管する制度です。大切な遺言書の紛失や改ざんを防止できますので、ご自身の財産を大切な方へ確実に託す方法の一つとして、ぜひ本制度の利用をご検討ください。

ご利用には事前予約と手数料（3,900円）が必要です。詳しくは法務省ホームページでご確認いただくか、お近くの法務局にお問い合わせください。

問 鹿児島地方法務局川内支局
0996-22-2300（代表）



遺言書ほかんガルー



「移動ねんきん相談所」を開設します

国民年金・厚生年金・船員保険・共済年金などの年金制度全般に関する「移動ねんきん相談所」を開設します。川内年金事務所の職員が対応し、相談は無料です。利用には事前予約（先着順）が必要ですので、市民課までご連絡ください。予約の際は、「氏名・基礎年金番号・相談内容・連絡先（電話番号）」をお知らせください。

日時▶ 9月11日(木) 9:30～15:30

場所▶ 風テラスあくね 交流室5

持参するもの▶ 印鑑、年金手帳、年金証書、ねんきん特別便、ねんきん定期便など

予約期間▶ 8月27日(水)～9月4日(木)

問 市民課 住民年金係 ☎73-1218

阿久根市シルバー人材センター 会員募集

シルバー人材センターでは、会員（60歳以上の方）を募集中です。健康で働く意欲のある方ならどなたでも入会できます。特に清掃作業を希望される方を募集しています（短時間作業もあります）。

入会説明会を次のとおり開催しますので、参加を希望される方は事前にお申し込みください。

開催日▶ 毎週火曜日

時間▶ 9:00～10:30

場所▶ シルバー人材センター会議室

問 阿久根市シルバー人材センター
☎73-4888



働きたい、ここから再スタート したい！をサポートします

就職を希望しながらさまざまな事情により就職活動を行えていない長期無業者などを中心に就職に向けた支援と就職後の定着支援を行います。

対象者▶ 長期無業状態の方など

支援内容▶ 個別相談、職業選択アドバイス、履歴書などのサポート など

出張相談▶ 出水市社会福祉協議会

第2・第4水曜日 10:00～16:00

問 ここリスタ支援室・かごしま
☎099-269-5780



あくねの企業の 魅力を紹介

皆さんが暮らしている阿久根市にはたくさんのお店があるのをご存知でしょうか？就職を考える学生さんはもちろん、その親世代も意外と阿久根にある企業が何をしているか知らないことも多いと思います。それはもったいないです！このコーナーでは市民のみなさんに地元企業・働く人の魅力をお伝えします。

第9回は、阿久根のグローバルなお肉の会社と言えどももちろんこの企業、スターゼンミートプロセッサー株式会社常務取締役阿久根工場長川畑英幸さんにお話とメッセージを伺いました。



会社について 教えてください！

スターゼンミートプロセッサー株式会社は、東京証券取引所プライム市場に上場する食肉加工メーカー・スターゼン株式会社の100%子会社であり、国産の牛・豚の調達と加工を担うグループの中核企業です。北海道から鹿児島まで、全国7か所に加工場や食品製造工場を展開し、日本でもトップクラスの食肉加工能力を誇っています。

中でも阿久根工場は、衛生管理や加工技術において業界でも高い評価を得ており、国内流通に加えて51の国と地域への輸出認定を受けたグローバル展開の拠点でもあります。地元・阿久根から、安全・安心な食肉を全国へ、そして世界へと届ける役割を果たしています。



常務取締役阿久根工場長

川畑 英幸 さん

鹿児島県出身で、36年にわたり営業として豊富な経験を積み、九州全域の食肉小売を知り尽くしたお客様第一主義の現場人。食べ歩きが好きで、肉や魚、特にお酒には目がないとのこと。

ズバリ会社の 魅力は？

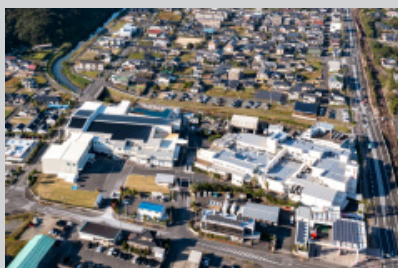
一番の魅力は、「人を大切にする企業風土」と「世界に通じる技術力」の両立にあります。阿久根工場では、自動除骨ロボットなどの最先端設備を導入し、従業員の負担軽減と作業の安全性向上に取り組んでいます。

また、有給取得の奨励やベアアップの実施、資格取得支援など、働きやすい環境整備や頑張りにきちんと応える制度も整えています。さらに、年間休日119日と、同業他社と比べてもしっかり確保されており、仕事とプライベートの両立が可能です。日々成長できる環境の中で、一人一人が長く、安心して、自分らしく働ける会社です。

若い世代への メッセージ！

食には、人を元気にし、笑顔にする力があります。私たちは、経営理念「食の感動体験を創造すること」で、世界中の人々と食をつなぎ続けるのもと、地域に根差しながら、世界にも目を向けた仕事を行っています。

「人の役に立ちたい」「自分を成長させたい」「地元貢献したい」そんな思いがある方は、ぜひ一緒に働きましょう。



スターゼンミートプロセッサー株式会社 阿久根工場

創業 1986 (昭和 61) 年
事業内容 食肉処理業
従業員数 396 人
休日など カレンダーによる
所在地 塩浜町一丁目 10 番地
電話 72-0885



市では、企業の魅力を発信し、市内企業への就業促進や人材確保を目的として、市ホームページで企業紹介を行っています。

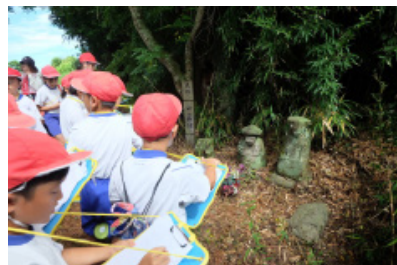
企業紹介記事についてのお問い合わせ
商工観光課 商工観光係 (☎ 73-1278)

折多小学校の総合学習授業

折多小学校3・4年生の総合学習で4回にわたり講師をさせていただきました。1、2回目の授業では阿久根七不思議をテーマに黒神岩・天狗の足跡・光礁の3か所を訪れ、見て感じたことを言葉やイラストで記録。「黒神岩はカッコいいなあ〜」「天狗の足跡って何センチ？」など興味深く観察する様子が伺えました。

3、4回目では鍋石にある、たのかんさあを見学したあと紙粘土とウニ殻を組み合わせて手のひらサイズのたのかんさあ作り。紙粘土に黒インクを混ぜて石のような灰色にしてから頭と体を作り、ウニ殻をたのかんさあのシキに見立てて色付け。統一感を出すため顔を白くすることとしゃもじとお茶碗を持たせることを条件に、それ以外は自由に着色してもらいました。今回の授業での体験が、自分たちが暮らす地域への関心や親しみを深めるきっかけになればいいなと思います。

阿久根市地域おこし協力隊 濱田



海鮮と珈琲 港町のカフェソアプロット 編

こんにちは。地域おこし協力隊の齊藤です。

阿久根駅前で10年親しまれたCafé Soaprootが、海辺に面した街中にある空き家を改修した新店舗へ移転オープンしました。

移転先選びから内装調整、機材搬入まで地域の温かな協力のもと1か月もかからずに再始動しました。

新店舗は潮風を感じるロケーションが魅力で、旬の地魚を使った料理、約50種類あるドリンクメニュー、手作りスイーツや焼き菓子などを提供しています。

店主は「初めての方も常連の皆さまも、四季折々の海の幸と手作りスイーツを心ゆくまで楽しんでいただけたら嬉しいです」と語っています。

あなたのアイデアが、次の地域のにぎわいを生むかもしれません！

空き家に関するご相談や情報がありましたら、いつでもお気軽にお問い合わせください。



新店舗情報

阿久根市浜町 80-1

月 水

9:00～17:30

金 土

9:00～20:00



空き家相談窓口

ご相談はこちらのQRコードをお手持ちのスマートフォンで読み取りをお願いします。

阿久根市地域おこし協力隊 Facebook、Instagram もあります。

協力隊への連絡は (株) まちの灯台阿久根 (☎ 0996-72-3646)

阿久根市役所 商工観光課 (☎ 0996-73-1114)

企画推進課 (☎ 0996-73-1215)

まで



げんまもい

畑

に行くのが好き」そう話
すのは、毎日園芸を楽し
んでいる松永フヨさん96歳。

旦那さんが退職したのをきつ
かけに夫婦で農業を始めたそう
ですが、当時は、わからないこ
とばかりで苦労することが多く、
挫折しそうになることも度々
あったそうです。

そんな時、心の支えになっ
ていたのは、松永さんの育てた花
や野菜を買って「すごく綺麗」
と喜んでくれる方々の姿だった
そうです。「相手が笑顔になると自
然と自分も笑顔になる」と農業



VOL.37
松永 フヨ さん (96)
(牛之浜区)

のやりがいについてお話されて
いました。

現在は、これまで培った経験
や知識を娘さんたちに教えなが
ら趣味として園芸を楽しまれて
いるそうです、自分で育てた作物
を孫やひ孫がおいしそうに食べ
ている姿を見ることが生きがい
になっているとのことでした。

今後の目標についてお聞きす
ると「孫たちに負けないぐらい
元気に過ごしていきたい」と活
き活きとした表情でお話しされ
ていました。



「あくねの元気者」大募集！ 75 歳以上の方で話題性のある方をお待ちしております。

問 介護長寿課 高齢者支援係 ☎ 73-1241 / FAX 73-0297 / ✉ korei@city.akune.kagoshima.jp

ぜんかせいとこうじょう 善化製糖工場

ぜんとうぶんかえんく
(善糖文化園区)



台南市善化区にある「善化製糖工場」は、1904 年（明治 37 年）に設立された、100 年以上の歴史を持つ製糖工場です。日本統治時代に建てられ、当時の台湾を代表する製糖拠点のひとつとして栄えました。

現在も製糖を行っているため、工場内部は立ち入り禁止ですが、敷地の一部は「善糖文化園区」として一般に開放されており、誰でも気軽に訪れることができます。赤レンガの建物、古い宿舎を活用したカフェ、文物館などが点在し、レトロな雰囲気の中で散策が楽しめます。敷地内の売店では、台糖オリジナルのアイスが人気。特に暑い日には行列ができることも。甘い香りがただよう園内を歩きながら、台湾の砂糖産業の歴史に思いを馳せてみませんか？

工場の近くには、緑に囲まれた親水公園や、大きなガジュマルの木があり、地元の人々の憩いの場にもなっています。昔ながらの製糖文化と自然が調和するこの場所は、観光客にとっても地元の人にとっても魅力的なスポットです。



台南さんぽ
～ 歡迎來台灣 ～

No. 02



阿久根市と友好交流都市の
台湾・台南市善化区。
地域おこし協力隊として活動
する台南出身の張さんが、
その魅力を紹介していきます。

ウニ殻活用したストールを知事に贈呈 ～尾塚水産が廃棄から活用へ～

磯焼け防止のため駆除され、廃棄物となるムラサキウニの殻を活用して染め上げたストールをPRするため、7月14日に、製作者の(有)尾塚水産尾塚エイ子取締役役と中村県議、上野副市長が塩田知事を表敬訪問しました。

贈呈されたストールは、シルク素材にムラサキウニのトゲから抽出した染料で淡い紫色に染められたもので、霧島市の県工業技術センターの支援を受けて開発されたものです。令和4年には「かごしまの新特産品コンクール」で入賞しています。

今後は、ふるさと納税の返礼品としても取り扱う予定でウニ殻のさらなる活用と発信が期待されます。



郷土芸能「山田楽」を次の世代へ ～脇本小で伝承式、折多小児童へも継承～

7月12日、脇本小学校で、同校に伝わる郷土芸能「山田楽」の伝承式が行われました。式では、脇本小6年生が渾身の演舞を披露し、後を継ぐ脇本小5年生30人に加え、三笠中学校で山田楽を演舞することになる折多小6年生16人にも伝承しました。

脇本小の川原園校長は「歴史と伝統と重みを感じながら、しっかりと受け継いでいってほしい」と語り、脇本小5年生代表の齋藤彪馬さんは「42期生として山田楽を引き継ぎます。立派に演舞できるよう、みんなで練習をがんばっていきます」と力強く話しました。



歴史つなぐ六月燈の灯り ～六月燈神事と演芸会を開催～

7月19日、波留区の菅原神社において、菅原神社奉賛会による第37回奉納菅原神社六月燈神事が行われました。六月燈は、旧薩摩藩領内に伝わる旧暦六月の夏祭り行事で、地域の伝統として今も受け継がれています。

境内には、波留区育成会の子どもたちが描いた絵を使った灯籠が吊るされ、やさしい灯りが包み込みました。

神事終了後には波留区公民館で夏祭り演芸会も開かれ、歌や踊り、楽器の演奏などの多彩な出し物が披露されました。ヨーヨー釣りやかき氷などの出店も並び、会場には150人を超える地域住民がにぎやかな夏の一夜を楽しみました。



戦時の寄せ書き旗を黎明館に寄託 ～寺山区の平元さん、貴重な文化資料に～

寺山区の平元隆さんが、生前、父・栄助さんが所持していた「国旗の寄せ書き」を地元で公開しました。

この旗は、昭和14年、日中戦争に従軍した栄助さんが、海南島（現在の中華人民共和国海南省）に上陸した際の記念として記されたものです。戦後、米国に渡りましたが、日米双方の多くの人の手を借りて生存者が探し出され、昭和44年に数十年ぶりに栄助さんのもとへ返還されたという経緯があります。現在、この旗は9月7日まで出水歴史民俗資料館で展示されており、その後、県歴史・美術センター黎明館へ寄託される予定です。戦争の記憶と教訓を次世代へ伝えるための貴重な文化資料として、大きな意義を持っています。

▼出水歴史民俗資料館





全国・九州大会へ！

～鶴翔高校の生徒7人が市長を表敬～

7月18日、鶴翔高校の生徒7人が阿久根市役所を訪れ、市長に大会出場の報告と意気込みを語りました。

総合学科3年 水泳部 餅越欄羅さん

7月21日～第73回全九州高校総体水泳競技大会出場（宮崎県）
「九州大会ではシーズンベストを出せるように頑張ります！」

総合学科3年 陸上競技部 高口永恋さん

7月24日～令和7年度全国高等学校総合体育大会（インターハイ）出場
「決勝に残って入賞できるよう、前半から自分のレースをしっかり走りたい！」



農業科学科3年

吉武海翔さん、柏木大輝さん

農業科学科2年

児玉泰成さん、西崎琥太郎さん、
濱崎一貴さん

8月7日、8日 第68回九州学校
農業クラブ競技大会大分大会プロジェ
クト発表会出場

吉武さん「発表を通じてバイオ苗の魅
力を伝え、少しでも病気が減ってほしい！」

七夕こども祭り・焼酎ガーデン楽しま Night ～笑顔と灯りがともる夏の夜～

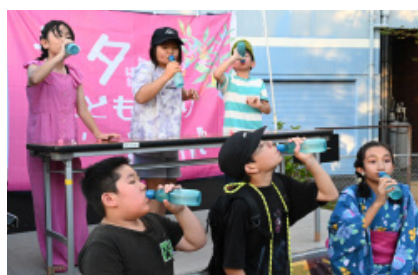
7月21日、大丸公園において、楽しま Night 実行委員会の主催で「七夕こども祭り」と「焼酎ガーデン楽しま Night」が開催され、多くの来場者でにぎわいました。

会場には、市内の認定こども園・保育園・学童クラブの児童が描いた絵を使った灯籠が吊るされ、やさしく幻想的な雰囲気となりました。

公園内では、お菓子のつかみ取りやスーパーボールすくい、射的、カタヌキなどの出店、エア遊具なども設置され、子どもたちが元気いっぱい楽しんでいました。ステージでは、かき氷やスイカの早食い、ラムネの早飲み競争が行われ、会場から大きな歓声が上がりました。

さらに、公園横の道路は歩行者天国となり、焼酎コーナーやキッチンカーなどの飲食ブースも並び、多くの家族連れや若者でにぎわい、大人も子どもも笑顔で夏のひとときを過ごしました。

実行委員長の濱崎公彰さんは「子どもたちの笑顔が輝いていて、焼酎もおいしく感じる楽しい夜になりました。また次回も多くの皆さんと楽しめたらうれしいです」と話しました。



阿久根市の空き地有効活用プロジェクト

今 年5月に、阿久根小学校3年生の皆さんと一緒にまいたヒマワリが満開になりました。今年は少し小ぶりでしたが、青空の下、元気な花を咲かせてくれています。このプロジェクトは、今年で3年目ですが、毎年のようにおれんじ鉄道に向いて咲きます。国道側には背を向けてしまいましたが、ぜひおれんじ鉄道に乗って見てみてください。

私たちも、折口駅から阿久根駅まで実際に乗って見てみました。阿久根市内のあちこちで、満開のヒマワリが見られるように、私たちの活動を地域の皆さんに広げていきたいと思います。



上級学校・企業見学

7 月1日に上級学校・企業見学を行いました。当日は、本校1・2年生の全員がAコース（四年制大学・短大）、Bコース（医療・保育系専門学校）、Cコース（医療・保育系以外専門学校等）、Dコース（農業関連企業・施設）、Eコース（食品関連企業・施設）といった5つのコースに分かれて見学に伺いました。

1年生の吉留優斗さん（三笠中卒）は、「訪問先の学校はさまざまな学科を持っており、生徒さんたちは、とても楽しそうに授業を受けたり、実習を行ったりしていた。また、先生方は親しみやすく、学校の雰囲気が大変良かった。自分の未来を見つけるためには、自分の興味があることだけでなく、新しいことを広く知ることが必要だということを今回の上級学校・企業見学で学ぶことができました」と話してくれました。

2年生の上口雄大さん（阿久根中卒）は、「今回の訪問で、学校ごとに違った特色があることを学びました。進路を決定する際には、希望する学科を持つさまざまな学校を調べて、自分の夢を叶えるために一番良い場所を見つけようと思います。そしてそこに合格できるよう、一生懸命勉強をしようと思います」と話してくれました。

1年生はあと2年、2年生はあと1年。しっかりと情報を収集し、吟味した上で、自分に合った進学先、就職先を見つけて欲しいと思います。



南三陸高校商業部の生徒とのオンライン交流

鶴 鶴翔高校の2年生の探究グループ「やきとり♥」の4人が、7月16日に宮城県の南三陸高校商業部の生徒とオンラインで交流しました。遠く離れた両校ですが、ともに海に面したまちにあり、磯焼け現象の起きる海のウニ殻の活用方法の探究に取り組んでいるという共通点があることから、交流することになりました。

「やきとり♥」の4人は、もともと阿久根市の(有)尾塚水産の尾塚エイ子さんと同社の技術顧問藤本滋生先生（しげお）のご指導のもと、ウニ殻活用で阿久根市の活性化を探究していました。南三陸高校の商業部の皆さんは、藤本先生の論文を読んだことがきっかけで、藤本先生に連絡を取り指導助言をいただいたご縁で両校がつながり、今回の交流が実現しました。

また、泰平食品(有)の下園さんのご協力をいただき「ウニ殻×ボンタン皮の入浴剤」の商品開発を探究している内容をオンラインで発表。南三陸高校の商業部のみなさんは、ウニ殻のろ過機能を生かした歯磨き粉の商品開発を発表しました。両校の探究は同じような課題を抱えており、互いに質疑応答が盛り上がっていました。連絡先を交換し、今回のオンライン交流以降の探究協力を約束しました！



スプレー缶や使用済小型充電式電池による 火災発生防止にご協力ください

問 環境水産課 生活環境係 ☎ 73-1219

第1・第3水曜日の「燃やせないごみ」の中に、処理が不十分なスプレー缶や使用済小型充電式電池（充電して持ち運ぶことができ、繰り返し使える電池や製品）が混入し、収集車で火災が発生するなどの危険な事故が発生しています。

これらは、収集車内でのガス噴出や電池のショート・発火が起き、火災につながる恐れがあり、非常に危険です。こうした事故を防ぐためにも、正しい分別・処理を徹底してください。



▲ 詳しくはこちら

使用済小型充電式電池 の正しい出し方

小型充電式電池は、モバイルバッテリーや携帯ゲーム機、電子タバコ、ハンディ扇風機など幅広い電子機器や家電製品に使用されています。これらの充電式電池が使用された製品は、ごみステーションに出してはいけません。

スプレー缶 の正しい出し方

- 中身を完全に使い切ってから、必ず穴を開けて中のガスを抜いてください。
- 燃やせないごみ（第1・第3水曜日）で出せますが、燃やせないごみ用指定袋（赤色の袋）には入れず、レジ袋に入れるなど別で出してください。

本体から電池を取り外して、次の場所に出してください

- 阿久根市役所環境水産課
- 三笠支所
- 大川出張所
- 回収協力店舗（（一社）JBRC の HP を参照）

次の点に注意して出してください

- ① 電池は使い切る。
- ② 分離ができない製品は、絶対に解体しない。
- ③ 金属端子部などが露出したものは、ビニールテープなどで必ず絶縁する。

見守り 新鮮情報

事例1 ネット広告で見たサプリを注文した。**1回だけのお試し**のつもりだったのに、2回目が届いたので**送り返した**。すると、**請求書**だけが送られてきた。支払う気はないので放置していたら**法律事務所**から**通知**が来た。どうしたらよいか。
(70歳代)

事例2 SNSの広告を見てお試し商品の美容液を買った。その後同じ商品が届いたが、**注文した覚えがない**のでその旨と**解約希望**の書面を同封して**返品**した。その後も**請求書**などは届いていたが無視していたところ、先日、**法律事務所**からこの請求について**最終通告**のような封書が届いた。商品が手元がないのに請求されるとは納得がいかない。
(70歳代)



ひとこと助言

- 低価格やお試しなどを強調する広告を見て、1回だけのつもりで商品を注文したら実は定期購入だったというケースがあります。
- 自分は1回分しか注文していないからと、商品を返送したり受け取り拒否したりしても、それだけでは解約にならないので注意しましょう。
- ネットで購入する際は、最終確認画面などで定期購入になっていないか、解約方法・条件、支払総額などをしっかりと確認しましょう。また、これらの記載はスクリーンショットで必ず保存しましょう。
- 誤認するような表示があった場合などには、申し込みを取り消せる場合があります。

**定期購入「返品」だけでは
解約になりません**

困った時はご相談を！
阿久根市消費生活センター（商工観光課内）
☎ 73-1278

みんなのうた

短歌（阿久根短歌会）

ほのかなる音がこの身にまつはりぬ
有明月の吐息なるべし
別府義明

数多ある君への愛しさ憎らしさ
夜更けに聞こゆ雨だれの音
飛松保子

ピアノ弾く兄のバリトン蘇り
読経染み入る二十五回忌
谷口久美子

思ふこと遣り遂げること儘ならず
夢は捨てよとをみな呟く
有田イチエ

短歌（個人）

紀の川の水ほど清くなけれども
長江の水わが四肢流る
六魚卯

俳句（阿久根俳句会）

季題「夕立・他」

休耕田青田になりて風渡る
大漣克義

夕立去り空には小さき雲一つ
波留淑子

夕立や奔る嬌声セーラー服
渡辺久治

夕立や傘の出番も間に合わず
川畑京子

薩摩狂句（阿ん文旦会）

題「星」

凄ぜ速さ 願げも言ださん
流れ星

尻無八夜

（唱）立札い書て 於けば星どんが見やっ
世ん中を 振り回しちよっ
星条旗

（唱）世界中が見ちよっち 凄ぜか鼻息
小園なでしこ

【投稿先】〒899-1696 阿久根市鶴見町200番地「阿久根市総務課『広報あくね みんなのうた』コーナー まで
氏名（ペンネーム可）・住所・電話番号・年齢・性別をご記入の上、郵送またはメールでお寄せください。
【メール】hishokoho@city.akune.kagoshima.jp 【電話】0996-73-1208 ※紙面の都合上ご紹介できない場合あり。

図書館だより

☎ 0996-72-0607
🕒 9:00 ~ 19:00
📅 休 原則月曜日

電子図書館
おすすめの冊



「おもちゃになりたいにんじん」
岩神 愛（作・絵）
りこちゃんが「にんじん、きらい。おもちゃが好き！」と言うのを聞いてしまったにんじんは大ショック！好かれたい一心で、にんじんをやめておもちゃになることを決意しますが…。

お知らせ

<9月の行事>

パンビ教室 6日（土）
子育て支援（西目） 9日（火）
ブックスタート 12日（金）
映画会 13日（土）

<休館のお知らせ>

館内整理のため、9月16日（火）～9月29日（月）まで休館となります。期間中、図書の貸出・返却は、行っておりませんのでご注意ください。本の返却は、休館明けにお願いします。

新刊『ひらりと天狗』明里 桜良（著）



母の実家で一人暮らしを始めた公務員のひらり。母の家系が代々、天狗に願掛けをする役割を負った家だと知り、喋るアナグマの夜三郎など不思議な生き物と交流するように。そんな中、彼女たちが住む豊穂市を大きな台風が襲い…。

新刊『しふく弁当ききみみ堂』冬森 灯（著）



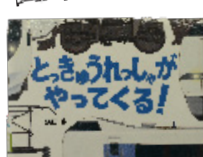
“食べる手紙”のように仕立てられたお弁当は、受け取った人の心にやさしく寄り添い、明日をがんばる力を与えてくれる。お弁当がつなぐ、あたたかな絆の物語。

新刊『烈風を斬れ』砂原 浩太郎（著）



関白・豊臣秀次の遺児・孫七郎は、「大坂の陣」前夜、大坂方の密使として、全国に散らばる牢人たちを仲間に引き入れる役目を受け…。

新刊『ときゅうれっしやがやってくる!』鎌田 歩（作）



特急列車に乗って、お母さんとおでかけする女の子。駅は多くの人の声やにぎやかな音であふれている。特急列車は、お客を迎えに、車輪の音を響かせながら走り…。

※うぶごえ・おくやみは、個人情報のため掲載していません。
ご了承ください。

華麗なるうたの祭典

7月25日、風テラスあくねで「第46回霧島国際音楽祭みやまふれあいコンサート in 阿久根〜華麗なるうたの祭典〜」が開催され、約250人が来場しました。

ステージには、国内外の第一線で活躍するメゾ・ソプラノの林美智子さん、テノールの西村悟さん、ピアノの石野真穂さんが出演し、21曲を披露しました。

美しく迫力のある歌声と、豊かなピアノの音色が会場に響き、来場者はじっくりと耳を傾けていました。



今月の題字

阿久根

阿久根中学校3年

浦 鈴華 さん



中学校生活ではバスケットに熱中し、仲間や、顧問の先生達と過ごした時間が一番の思い出です。また、習字を書くことも大好きです。残りの中学校生活も大切にしながら、受験勉強も悔いのないように頑張りたいと思います。

数十年に一度咲く神秘の花

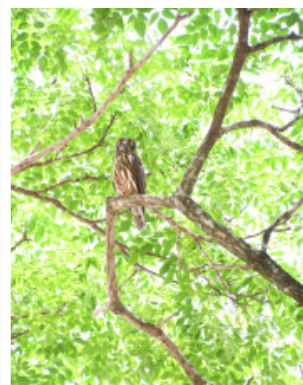
西目の国道3号沿いに植えられたリュウゼツランが、7月中旬、見事に開花しました。今回は、2株同時という大変めずらしい出来事です。リュウゼツランの株幅は2〜3メートルにもなり、最大の特徴は、一生に一度だけ花を咲かせ、開花後に枯れる「一回繁殖型植物」であることです。このリュウゼツランの最初の株は昭和33年、阿久根農業高校の生徒たちが学びの一環として旧阿久根駅前に植えたもので、平成23年の53年目に開花し、その生涯を終えました。

平成25年の阿久根駅改装に伴い撤去されることになりましたが、若松光志さんがその子株を5株譲り受け、西目地区に移植。そして今、その子株たちが育ち、ついに数十年ぶりに花を咲かせました。



田代小センダンの木とアオバズク

現在休校中の田代小学校の校庭に立つセンダンの木は樹齢140年を超え、夏になると青々と葉を茂らせ、心地よい木陰をつくります。今年もこの木にアオバズクのつがいが姿を見せ、3羽のヒナが誕生。7月下旬には無事に巣立っていきました。



被爆者の平均年齢は86歳を超え、戦争を知る方々は年々少なくなっています。戦争体験者の方々からお話を伺い、改めて平和の尊さと次の世代へ語り継いでいくことの大切さを感じました。

みどり夏まつりは、これまで踊る側として参加してきましたが、今回は広報担当として撮影に回りました。皆さんが本当にいい表情で踊っていて、その瞬間を切り取るたび、こちらまで元気をもらえました。当たり前すぎて忘れていましたが、国道3号で行うこと自体がそもそものすごいことだなあと思います。来年はさらに多くの人が参加し、ふるさとへの愛着がより一層深まっていくことを願っています。(森枝)



次号(9月号)は、9月17日(水)発行予定です。

人のうごき(7月31日現在)

	前月比
人 □	17,925人(+4)
男	8,528人(+6)
女	9,397人(-2)
世帯数	9,603世帯(±0)
●出生	13人/●死亡 28人
●転入	49人/●転出 30人

※その他事由による異動増減 0人

※うぶごえ・おくやみは、個人情報のため掲載していません。ご了承ください。



市役所・番所丘公園に設置したソーラーパネルで発電した電気量などをお知らせします。

7月の電気地産地消量

217,171 kWh

一般家庭 612 世帯が
月間で使用する量

CO2 削減量

98.4 t-CO2

スギの木 7,027 本分
が年間で吸収する量

お知らせ

阿久根市自主文化事業

「中国雑技団」公演

「中国雑技団」公演を開催します。

中国 4 千年の技をぜひ間近でご堪能ください。

日時 **9月21日(日)**
14:30～(13:30 開場)

定員 500 人

会場 風テラスあくね ホール

問 生涯学習課 文化係 ☎72-1051

チケット 好評発売中

- 一般 1,000 円
- 中学生以下 500 円
- 未就学児 無料

チケット販売所

- 風テラスあくね
- 阿久根市立図書館
- 富浜書店
- にぎわい交流館阿久根駅（あくねや）



有料広告

健康維持のために 生きがい 仲間づくり 人生経験を役立てたい

60歳からこそ 即戦力

人生100年時代。あなたの力を社会へ！シルバー人材センターに入会して、新しい働き方を見つけませんか？

新会員募集中

公益社団法人 阿久根市シルバー人材センター
鹿児島県阿久根市塩鶴町二丁目1番地 ☎0996-73-4888

有料広告

もう、贈り物に悩まなくていいんです。だって阿久根市には「石原牛」があるんですから。味の分かる、大人の贈り物。

お探しの贈り物はこちら

有料広告

ONE-Stop/Service Benry 生活支援サービス

Benry

TOTAL CONVENIENCE SERVICE

あなたの暮らしのお困りごとを解決します！

スタッフ募集
お客様の困りごとを解決する仲間を大募集中です！

ガーデンメンテナンス エアコンサービス ハウスクリーニング ハウスメンテナンス

話にはコーポレーションが運営しています。

ベンリー出水・阿久根店

出水市鶴町1474
通話無料 ☎0120-08-0185

有料広告

木材、新建材、住宅機器 取り扱っております。

お客様のリフォームしませんか？

中村木材有限会社

〒899-1611 阿久根市赤瀬川12376番地3
TEL: 0996-73-2100 FAX: 0996-73-2101

無料でご相談承ります！

Instagramはこちら！ @NAKAMURA_MOKUZAI

有料広告

出水法律事務所

弁護士 米田 圭吾（鹿児島県弁護士会所属）
鹿児島県出水市昭和町3-24

初回の相談は 1時間まで無料です。

☎0996-79-3535

月曜日～金曜日 午前9時30分～午後5時まで

相続、離婚、借金、労働、交通事故、その他幅広い分野を取り扱っております。お困りのことについて、お気軽にご相談ください。

まずは、お電話でご予約ください。

有料広告

家族葬・一般葬

No.1宣言！

地域密着のさくら会館・つるみ会館

事前相談受付中 //

その方らしいお葬式

- ☐ お葬式のかたち
- ☐ お葬式費用
- ☐ お支払い方法

ぜひ、ご相談ください

地域密着のさくら会館・つるみ会館

お葬式の公善社
〒899-1629 鹿児島県阿久根市塩鶴町2丁目20番地
tel.0996-72-0634

